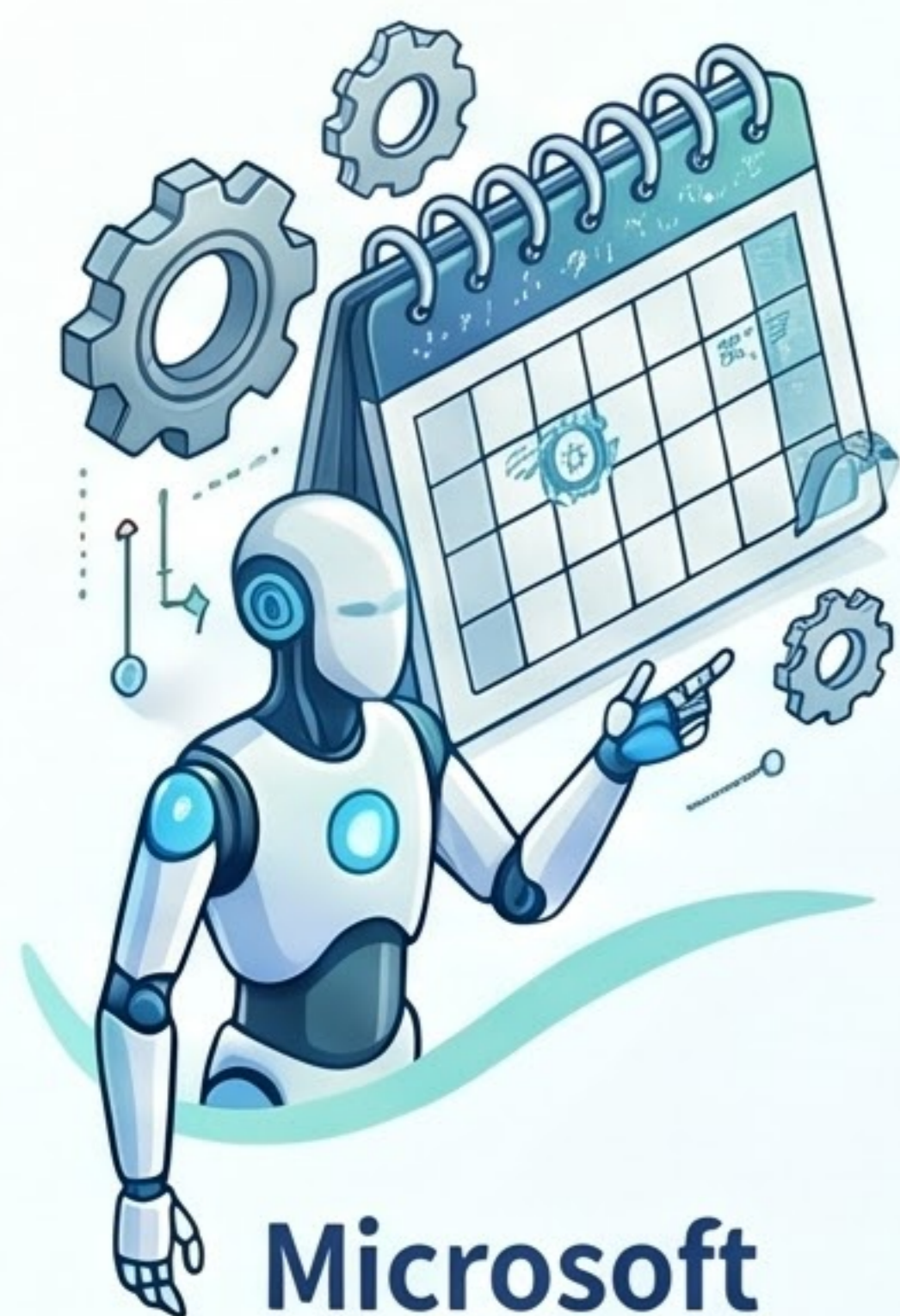


Build 2026 エージェントAIがもたらす知財業務のパラダイムシフト

自律型エージェントによる
業務の変革



Microsoft Scout

24時間稼働の
デジタル知財パラリーガル
ユーザーの指示を待たず、
バックグラウンドで自律的に実行

機密知財を守る「鉄壁」の
実行アーキテクチャ



エージェント専用の
Entra IDによる
厳格なガバナンス
個別のID付与、未公開発明と
公開権範囲にシステムレベルで
チャイニーズウォール構築



ヒューマン・イン・ザ・
ループの承認制
特許庁への査報提出や高額費用
など、重要アクションには人間
承認を介在させ安全性担保



未公開ソースコードや
発明データをネットワーク隔離、
外部漏洩リスクを物理的に排除



Aion 1.0 による
ローカル推論の完結
140億パラメータモデルをデバイス
搭載。オフライン環境下で構文文
書要約・クレーム分析を高速実行

MXC
(Microsoft Execution
Containers) による
サンドボックス化
未公開ソースコードや発明
外部漏洩リスクを物理的に排除



誤検知ゼロの
セキュリティ監査
100以上の専門エージェントが
速読、生成コードの特許優劣
リスク・脆弱性を特定・修正

Microsoft IQによる知
財インテリジェンスの統合

Work IQ & Fabric IQ :
社内資産の構造化

メール、開発履歴、退去者ポートフォリオ
を意味的に理解、発明萌芽を早期特定



Web IQ : リアルタイムな
外部情報の把握

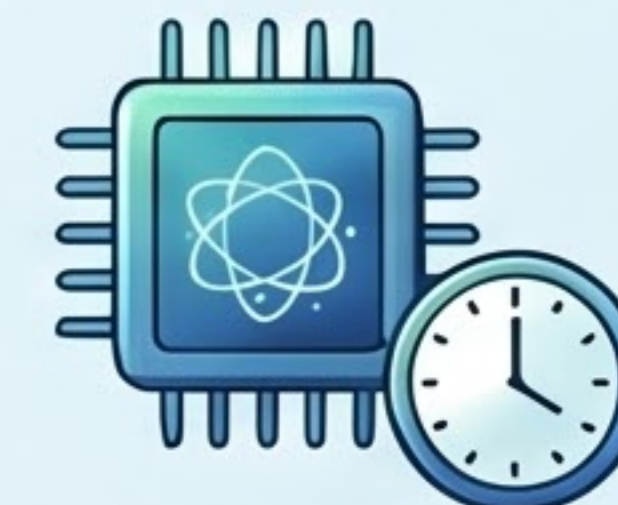
世界中特許DB・技術ニュースを常時スキャン、
最新IPランドスケープ・FTOを自動更新

未来の知財戦略：
作業員からオーケストレーターへ



Microsoft Discoveryによる
R&Dの加速

研究開発サイクルが数年から数ヶ月へ短縮、
知財実務もリアルタイム自動化不可欠



Majorana 2 : 量子時代の
特許戦略

2029年のスケラブル量子時代を見据え、
エージェントAIを用いた先因り的な
特許網構築が求められる

知財専門家は
『オーケストレーター』へ
単純な審判作成をエージェントに要請、
人間は経営戦略やR&Dとアラインした
高次元な戦略判断に集中

エージェントAI基盤テクノロジーの性能向上

クエリ速度
(Fabric Data Warehouse)
最大 7倍

スループット
(Asure HorizonDB)
3倍以上

量子ビット優越性
(Majorana 2 Chip)
1000倍

腐蝕性検出スコア
(MDASH)
96.55%



動的なリスク・機会
ダッシュボード

AIが視察する最新知財分析結果を、
人間が監視・評価する体制へ移行